ゲンロク 2020年10月号（毎月26日発売）
8月26日発売 No.416 第35巻第10号

Car Entertainment Magazine

［ゲンロク］

GENROQ

2020 OCT No.416 10
定価 998Yen

The SUV World



超絶SUV最前線

新型ディフェンダー徹底研究

先代との違いを検証／Gクラス&ラングラーとのタフネス対決

アストンマーティンDBX初試乗

ゴードン・マレーT.50の真実

［IMPRESSION］フェラーリ・ローマを試す

［SUPER TEST］ポルシェ718ケイマンGT4 in ニュルブルクリンク

ポルシェ特選ショップ

REPORT●石川大輔(ISHIKAWA Daisuke)　PHOTO●白谷　賢(SHIRATANI Ken)



繊細かつ大胆な造形で魅せる

メッシュスポークに刮目せよ

Hyper Forged × Garage Bianco HF-LMC for Mercedes-AMG C63S

オシャレは足元からとはよく言ったもので、ホイールはクルマの印象を左右する最重要項目に挙げられる。いくらスタイリッシュなフォルムでも、どれだけハイセンスなエアロパーツを纏っていても、足元が決まっていなければ台なし。それゆえ慎重なセレクトが求められることは、言わずと知れたことである。

ハイパーフォージド。日本で生み出され、輸入車のカスタムシーンを牽引してきた鍛造削り出しホイールは、豊富なデザインや高性能はもとより、多彩なサイズ&カラーバリエーションで、目の肥えたユーザーから絶大な支持を獲得してきた。

ここで紹介するのは、メルセデスのラインナップのなかでも硬派なモデルとして知られるC63S。最高出力510psオーバーを誇る4ℓのツインターボを搭載したハイパフォーマンスセダンだ。これにハイパーフォージドの最新作、HF-LMCを組み合わせてきたのは、京都府に拠点を構えるディストリビューター「ガレージビアンコ」である。

そう語るのは、数々の輸入車カスタムを手掛けてきたガレージビアンコ代表の担当者。HF-LMCについては、ラグジュアリー感に溢れるなかにもコンケーブがほどよく効いていて、ホイールが大きく見えると評価していた。

実際の所、HF-LMCの造形は、じつに大胆かつ繊細である。センターキャップ周辺の駄肉を徹底的に削ぎ落としたうえで、リムエンドへと伸ばした変則10スポークは、ダイナミックなフォルムが多かったハイパーフォージドの新境地ともいえる。

エッジ部分にはマシニング加工が施され、より抑揚のあるデザインを構築。見る角度や光の当たりかたで様々な表情をみせるフォルムは、ハイエンドクラスに相応しい上質さと、アグレッシブな力強さをみごとに両立してきている。

もちろん見所はデザインだけではない。ガレージビアンコにてマッチングが吟味されたカラーやサイズにも、敏腕カスタマイザーならではのこだわりが注入される。

ガレージビアンコが選択したのは、ブラッシュドアルマイトブロンズディスクにマットブロンズアナライズリムの組み合わせ。鍛造製法にこだわるハイパーフォージドならではの素材感を前面に押し出しつつも、リムカラーにブロンズ系を取り入れることで、大径感をいっそう引き上げる。ピアスボルトは、あえてマットブラック仕様とすることでシンプルな表情に仕上げているあたりも秀逸だ。

膨らみをもたせたC63Sのフェンダーに収められたサイズは、フロント9J×20+29、リヤ10・5J×20+54。タイヤはピレリP ZERO NERO GTで、フロント245/30ZR20、リヤ285/25ZR20を組み合わせる。

後輪にボリュームを持たせることで、ラグジュアリーでありつつもスポーティなエッセンスをプラスしてきているあたりも、さすがはハイエンドクラスの輸入車を知り尽くしたガレージビアンコといえる。

そのほかのスタイルアップ箇所は、ロリンザーのカーボントランクスポイラーやバナメリカーナのフロントグリルを入れたくらい。KWコイルオーバーキットでほどよくローダウンしたC63Sは、絶妙過ぎるホイールマッチングにより大人のスポーティセダンへと正常進化を遂げた。その仕上げのよさに脱帽だ。



ハイパワーを受けとめる強靭さと軽さを兼ね備えた鍛造削り出し製法により仕上げられるHF-LMC。2020年にリリースされた最新作で、複雑なメッシュ形状が特徴的。19インチから22インチと幅広いラインナップを誇り、フィニッシュも多彩。





←エッジの効いた素材感も魅力のアルマイト処理はハイパーフォージドのアイデンティティといえるもの。多彩なフィニッシュが用意され自分好みにアレンジできるのも魅力。オンリーワンのホイールに仕上げられる。





→スポーク側面に切削加工を入れることで、より立体的なデザインを構築。ナットホール周辺も凝った造形になっているのが分かる。日本最高レベルの鍛造、切削技術が採用されており、ライバルを圧倒する高品質を実現する。

車両協力／Garage Bianco　☎075-748-8127　http://www.garagebianco.com
問い合わせ／ハイパーフォージド　☎072-256-6664　http://www.hyperforgedwheels.com